

第4回地域福祉計画策定会議議事録

日時 平成29年8月30日(水)

午前9時～

場所 防災セミナー室北

1. 施策体系の見直しについて(資料1)

- 基本目標4の「自立を促す支援の促進」について、

「自立」というと経済的な自立と、障害者の方は生活面での自立がある。この施策名からすると両方をイメージするが、内容的には経済的な自立のことが書かれているので、表現として適切か。

→経済的な自立と明記することは難しい。

- 基本目標4の「ひきこもり、ニートへの支援」が、施策の方向性1の「自立を促す支援の推進」の「生活困窮者等への支援」に統合ということだが、ひきこもり、ニートが完全に隠れてしまう感じがする。「生活困窮者・ひきこもり等」というような表現にできないか。

→ひきこもり、ニートに対する事業がないので、統合した経緯がある。

- 「心と体の健康」の記載がないが重要ではないか。

ぶら下がる事業があまりないこともあり、記載していないが、検討する。

- 事業がないので、記載しないという考えはどうか。事業としてやっていく必要があれば記載していかないといけないのではないか。

2. 重点プロジェクトについて(資料2)

- 特に意見なし

3. 骨子案について(資料3)

- P.29 「高齢者の一人暮らしで不便を感じている」とあるが、高齢者の一人暮らしの人は、不便を感じている人ばかりではない。この表現は削ってもいいのではないか。(同じくP.29について)このようなコラムは他の自治体でもよく使われているか。見た人によっては、上記の意見のように突っ込まれてしまう。

→わかりやすく、読み易くするために入れる場合が多い。架空の人物設定をするので、少し特定した書き方になってしまう。

- P.39 「ボランティアや市民活動等についての情報を入手する」とあるが、情報を入手できていない人はどこから入手していいかわからない人もいる。計画書にどこから入手できる等とっかかり部分を書くといいのではないか。

- P.43 市民・協働ステーションの記載について、総合計画との整合性はとれているか。その他の部分も他の計画と整合性が取れているかしっかりと確認してほしい。
- P.57 全体的な話にもなるが、「江南市の状況は？」とある後に「江南市の現状と課題」とある。構成としておかしいのでは。P.57の「江南市の現状と課題」に書かれている上段の内容は課題ではない。
課題のマトリックスの統計欄に書かれている課題はどこにでてくるか。また、課題のマトリックスの中に書かれている表現で、言葉の整合性が取れていないところがある。骨子案の中でも、交通手段、移動手段など言葉の統一性、整合性がとれていないところがあると感じる。
→P.57については、ご指摘のとおり、「現状と課題」というタイトルと内容が一致していないので、再度検討する。統計から読み取れる課題についても、すべてではないが、「江南市の状況」の欄に記述がしてある。
課題のマトリックスについては、内部資料なので、そこまで精度は高めていない。
- 目標値等数値目標の記載がないが、実行性の担保はどのようにされるのか。地域福祉計画はあまり目標値の記載はしないのか。
→懇談会を何回やる等活动指標だけの目標値を設定してもあまり意味がない。成果指標の設定をするかどうか、事務局で再度検討する。
- 民生委員さんなど団体への周知はどのように考えているか。
→11月21日に民生委員さんが集まる機会があるので、そこで計画の素案は配付する予定。